

令和7年3月19日

岩手町立統合新設中学校開校準備委員会
委員長 武田 茂 様

総務部会
部会長 田中 忠一

岩手町立統合新設中学校開校準備委員会第3回総務部会報告書
標記について、下記のとおり報告します。

記

- 1 日 時 令和7年3月18日（火）18時30分～19時30分
- 2 場 所 岩手町役場 第3会議室
- 3 出席委員 8名
- 4 欠席委員 3名
- 5 会議内容 (1) 開会
(2) 部会長あいさつ
(3) 協議
・学校名の選定方法について
(4) その他
(5) 閉会
- 6 協議概要
・学校名の選定方法について
【事務局の説明】
 - 学校名の公募結果について説明（資料1）
 - ・応募総数 205件
 - ・有効案数 128案
 - 事前査定結果について説明（資料2）
【協議内容】

事前査定を実施するに当たって、査定基準について各委員から聴取し

て情報交換・確認した。

(委員の意見：不適當とした理由)

- ・岩手（いわて）から始まる案は、岩手町立岩手（いわて）〇〇中学校となり岩手が重なるので使用しにくい。
- ・岩手町唯一の中学校なので、岩手から始まるものが良い。
- ・岩手・いわては、私立岩手中学校がある。
- ・色・キャベツ・ブルーベリーのような、単一のものと思われるもの。
- ・学校の名前として相応しくないもの（そよ風・それいけ）
- ・大きすぎる地域を冠しているもの（日高見、岩手北、北岩手など）。学校名を聞いて岩手町の学校とすぐに認識できる名前が良い。
- ・漢字の弓弭。漢字は弓の持ち手の部分の意味である。
- ・石神だけは、沼宮内の一地区の名前。
- ・聞きやすい、言いやすい校名が良い。
- ・カタカナは学校名には相応しくない。
- ・専門的なもの。一般の人が聞いてすぐに意味が思う浮かばないもの。
- ・短縮名で呼ぶことが多いので、短縮名で呼びやすいもの。

【協議結果】

- 今後の選定方法について
 - ・事前査定結果（資料2）において、×の数が6以下の案を今後の選考対象とする。（番号1～64以下）
 - ・原則、上記の中から各自相応しいと思う候補を各自5案選定する。（65以降の案でも、どうしてもという場合はこの限りではない。）
 - ・次回の会議前に事務局に提出し、集約した上で次回の会議を開催する。次回以降、提出された案の中から検討していく。